

盲ろう者向け支援（訓練事業など）養成

特定非営利活動法人 兵庫盲ろう者友の会

〒650-0016 兵庫県神戸市中央区橘通4丁目2番10号 加藤マンション神戸202

助成事業の概要

パソコン：視覚と聴覚に障がいを持つ盲ろう者は、自分自身で情報収集や他者との通信ができるパソコンの利用で大きく活動範囲を広げることができるが、盲ろう者自身がパソコンをスムーズに活用できるまでには、多くの支援が必要である。とりわけ、盲ろう者を理解し、盲ろう者向けのパソコン環境の知識も持つ支援者は全く不足している状況にある。今回は、支援者を長期的なビジョンで養成するというこで、基礎的な知識を中心に、平成23年6月5日、12日に講座形式で二日間、6月25日、26日に集中的な実習の形で一日(2回に分けて)学習し、支援者の裾野を広げ、今後に繋げるものとなるようにした。

点字・手話：盲ろう者のコミュニケーション訓練を行うためには、支援者が点字・手法を習得しておく必要がある。年々、盲ろう者の参加が増え、また、高度な技術を必要とするようになった。盲ろう者向け通訳・介助員養成講座修了しただけでは、対応することが難しい。今回、支援者のレベルアップを図るために講習会を5月20日から毎週金曜日、全8回で開催した。

事業の成果

パソコン：基礎的な知識を中心の研修会なので、受講者其々の経験の有無に関係なく、全員が個々にレベルアップできたと思う。一般的なパソコンユーザーの設定と盲ろう者向けの設定の違いを知り、盲ろう者向けパソコンの設定で実習すること

により、パソコン支援での心構えだけでなく、盲ろう者が抱えている困難にも、さらに理解を深めることができたと思う。また、講座形式での学習の後に行った、メールの送受信の実習とディスカッションでは、実際の支援現場での問題などについて、活発な意見交換ができ、受講生だけでなく、講師、スタッフともども勉強になった。過去に盲ろう者向けパソコンの勉強経験がある受講者からは、忘れてしまっていたことも、改めて勉強出来てよかったとの声があり、全く初めての受講者からも、おおむね好評であった。パソコンの学習は、大変に幅広く、学ぶべきことも多いが、時間的制約もあり、消化不良な部分もあったのは否めないで、今後、受講者からの質問等あれば、個々に対応していくようにしたい。

点字・手話：毎週学習があることで、自宅での自主学習のきっかけにもなったようである。「学習をする」意識が、受講生の意欲として表れていた。盲ろう者支援を行う時に、「技術が足りない」と思いながら、一人ではなかなか努力することが難しいが、仲間がいることも励みになったようである。また、支援を行う時の対応についても、支援者各自が問題意識を持ちながら、取り組めるようになった。今後も、継続的に学習を行う場を提供していきたいと考える。

今後の展開

盲ろう者への支援技術は、短期間の学習のみでは、なかなか身に着くものではないが、これをきっかけに、新たに学習会などを計画し、盲ろう当事

者と共に学習を続けていければ、もっと成果は上げられると思う。支援者同士、支援者と盲ろう者が、ネットワークで助け合い、技術や知識、コミュニケーション方法などの情報を共有できれば、個人としても全体としても大いにスキルアップできると期待している。具体的には、コミュニケーション方法や障害を負った時期の違いなどで個性の強い盲ろう者へ、各盲ろう者ごとにチームを作って、総合的な学習を行っていきたいと考えている。